



2021年11月1日発行

第 116 号

事務局 〒161-0033 東京都新宿区下落合
1-3-16ジョリーマンションベル下落合205号
TEL/FAX 03-6457-3921
E-mail n.s.e.g@d7.dion.ne.jp
http://www.seishineisei.gr.jp/

〈目 次〉

開催迫る！日本精神衛生学会第37回大会！……………1

日本精神衛生学会第37回大会概要……………1

2021年度常任理事会・理事会 議事概要……………5



開催迫る！日本精神衛生学会第 37 回大会！

日本精神衛生学会第 37 回実行委員長 下山田 理絵(常磐大学)

2021年12月4日(土)～5日(日)、日本精神衛生学会第37回大会を開催いたします。大会テーマは、水口大会長が長年の臨床経験の中で考えてきた「豊かな虚の世界を求めて」となりました。「豊かな虚の世界」という言葉を聞いた時、皆様はどのようなことを思い浮かべるでしょうか。…このあたりは水口大会長が12月4日、熱く語ってくれていると思います。お楽しみに！

さて、本大会では様々な分野でご活躍されている先生方がシンポジウムやポスターを通し、それぞれの現場や研究の声を届けてくれます。これらのプログラムを計画しながら私の中に浮かんできたことは、「リアルな声を届ける」ということでした。大会当日の発表に至るまで、それぞれ試行錯誤する苦労があったことと思います。この苦労とそれらを形にして発表し共有する意義というのはコインの裏表のようなものではないでしょうか。このような想いは発表される先生方だけではなく、参加される先生方も同様でしょう。第37回大会を通して、それぞれの活動の場で感じる苦労が今後の活動を後押しするエネルギーに変化し、より良い活動に繋がることを願っております。実行委員一同、皆様の参加を心よりお待ち申し上げます。

日本精神衛生学会第 37 回大会概要

1.参加申込のご案内

申込方法：「豊かな虚の世界」で検索、もしくはQRコードから大会公式HPをご確認ください。

ページ上部に「Web 申込」がありますので、そちらからお申し込みください。

申込締切：2021年10月29日(金)→2021年11月19日(金)に延長いたします。

※事前申込のみとなります。当日受付はございませんのでご注意ください。

備考：①Web開催のため、端末(PC・タブレット・スマートフォン)、Zoomを利用できるネット環境が必要です。

②11月中旬～下旬を目安にパンフレットを郵送いたします。

郵送物の中に大会専用ページに入室するためのパスワードが記載されていますので、ご確認ください。

③大会専用ページでは Zoom の動作確認をすることができます。

12月3日までに必ずご確認ください。

③抄録集はダウンロードのみとなります。必要に応じて印刷をお願いいたします。



←第37回大会公式ホームページ

2.タイムスケジュール

12月4日(土)

時間	タイトル
10:00	開会式
10:30~11:30	【大会長講演】 豊かな虚の世界を求めて 水口進(常磐大学)
11:40~12:10	【ミニ講演】 発達障害と働くを考えるー民間企業入社4年目を迎えてー 栢田温子(東日本旅客鉄道株式会社)
13:30~14:50	【シンポジウム】 社会的養護における被虐待ケースのアフターケアの在り方 ー地域につなぐということ、子供の健やかな育ちを支える居場所づくりー 佐名手三恵(内原深敬寮)・片根志雄(菅田養徳園) 井出智博(北海道大学)・安藤みゆき(茨城女子短期大学)
15:00~16:20	【シンポジウム】 災害としてコロナ禍を考えるー寄り添い・つながり・継続ー 前田潤(室蘭工業大学)・松野千代美(小樽協会病院) 森光玲雄(諏訪赤十字病院)・定池祐季(東北大学)
16:30~18:00	オンライン交流会 ※希望者対象
終日	ポスター発表



<水口大会長から一言>

統合失調症と診断され15歳から5年間服薬。その後、大学に入学。
診断は統合失調から発達障害へ。在学2年目から彼女は変わりました。
5年かけて大学を卒業し、大企業に就職。今そこでバリバリ働いています。
“先生 乖離を起こしました” そう言って保健室で休んでいた彼女の姿
今ではその欠片もありません。発達障害をぶち壊せ！最近会った彼女は
強く逞しくなっていました。栢田温子さんのミニ講演を楽しみにしてください。

12月5日(日)

時間	タイトル
10:00~11:30	【シンポジウム】 あらためて「心の健康」とは何かを考える ~引きこもり、自殺、ハラスメントなどの多発から見えるもの~ 高塚雄介(明星大学)・影山隆之(大分県立看護科学大学) 小泉典章(長野大学)・上別府圭子(東京大学)
11:40~12:10	【ミニ講演】 コロナ禍における飼い主の三者三様~開業獣医師の視点から~ 水口勝之(みくまりどうぶつ病院)
13:00~13:50	【大会特別企画】 体験活動を通じた子どもの支援 ~きっかけとしての遊びプログラム「子ども体験遊びリンピック」~ 水澤豊子 (独立行政法人国立青少年教育振興機構国立大洲青少年交流の家)
14:00~14:50	【シンポジウム】 放課後等デイサービスにおける支援の在り方とは ~施設内での限られた時間で行うべき支援~ 渡邊雅史(一般社団法人クオリティ・オブ・ライフ)
15:00~16:20	【シンポジウム】 津久井やまゆり園事件を考える -宇宙・自然・生命・人間一分化・多様・適応性と継承・相補・存在性を踏まえ- 喜多祐荘(NPO法人かでの湘南)
16:20~16:40	閉会式
終日	ポスター発表

※変更が生じた場合には公式 HP でお伝えいたします。



<水口大会長から一言>

体験の風を起こせ！子ども体験遊びリンピック、国立青少年教育振興機構の取り組みです。発達障害の子ども、不登校の子ども、児童養護施設に入所している子ども。全国あちこちの国立青少年自然の家で彼らに対して体験の風を起こす取り組みが行われています。ぜひ軽い運動ができる服装でパソコンの前に座ってください。何かしらエクササイズがあるかもしれません。水澤豊子さんの大会特別企画を楽しみにしてください。

3.オンライン交流会のお知らせ

田山真稀子・足立拓哉

昨今、Covid-19の流行により各地で災害級の被害がもたらされております。皆さまにおかれましては、新たな生活様式を取り入れながら、日々を過ごされていることと思います。

昨今では、3密を避けるという言葉が浸透しておりますように、日々人と人との距離に配慮した生活を余儀なくされております。その一方で、どこことなく私たちの心の距離も広がってしまっているように感じます。

離れていても、心の密は守りたい。

その意味を込め、オンライン交流会を開催いたします。

開催日時：2021年12月4日(土) 16:30~18:00 ※参加費無料

申込方法：事前申込をこれからされる方

→大会ホームページの「Web申込」からお申し込みください。

「参加の種類」の中に「オンライン交流会」と記載されているものを選択して下さい。

事前申込をすでにされている方

→大会ホームページの「お問い合わせ」をご利用ください。

お問合せ内容を書き込む欄がございますので、「オンライン交流会参加希望」とご記入していただき、送信ボタンを押してください。

申込締切：2021年11月12日(金)

※キャンセル等の場合も11月12日までにご連絡いただけますと幸いです。

備 考：食べ物や飲み物は各自ご用意の上、ご参加ください。

ぜひこの機会に心温まる交流をお楽しみください。

事務局より総会のお知らせ

日本精神衛生学会 2021年度総会は、第37回大会中にオンラインで開催します。

■ 日時：2021年12月5日(日) 12:15-12:45

■ 形式：ZOOMミーティング

あらためて、総会資料とともにZOOMの招待をメールにてお送りいたします。

会員のみなさまのご参加をお待ちしております。

2021 年度常任理事会・理事会 議事概要

◇2021 年度第1回常任理事会 議事概要

日 時 : 2021 年 6 月 29 日 (19:00~21:15)

会 場 : Zoom にてオンライン開催

出 席 : (順不同、敬称略) 大西守、岡本淳子、影山隆之、上別府圭子、加藤純、菅野恵、酒井佳永、津川律子、中野良吾、西村靖史、福島眞澄、馬渕麻由子、丸山総一郎、吉岡伸一、高塚雄介、水口進、下山田理絵、船越明子(計 18 名) 記録担当(事務局員:原) 欠席:1 名 委任状:1 通

I. 報告

1. 2020 年度事業報告、2. 2020 年度会計報告(暫定版)、3. 編集委員会報告

学会誌において執筆者の所属・連絡先が未記載のものがあつたため、今後明記を徹底することとなった。事務局より、今年度の会費請求が遅れ 7 月から請求書が郵送されることが報告された。

II. 議題

1. 2021 年度事業計画および 2021 年度予算案について

2021 年度の追加事業(予算)として、学会誌バックナンバー掲載のための電子化作業、会員名簿作成、ニュースレターの紙媒体での発送が検討された。名簿の作成(発送)については役員改選にあわせて 3 年ごとの発行を予定しているが、記載事項の省略や郵送方法の工夫など経費削減についても話し合われた。ニュースレターの紙媒体での発送については全体の予算を鑑み、まず会員への意向調査を行い再度検討することとなった。

理事会等の委員会については今後もオンライン(Zoom)を利用することとし、委員会費の削減を図ることとした。

2. 第 37 回大会(常磐大学)について

実行委員長の下山田先生より、現時点での大会スケジュール、参加者や発表予定者の数等について報告された。また大会期間中に理事会(12/4)、総会(12/5)、編集委員会(12/4)が開催されることとなった。

3. 編集委員会

酒井編集委員長より今年度の編集委員、ニュースレターの発行、学会誌『こころの健康』の発行予定、投稿状況等が報告された。事例研究の倫理指針については、学会誌への事例研究論文の掲載についての議論の経緯、他の領域での倫理指針やケースレポートに関する議論、学会誌に事例研究を掲載する意義等について意見交換を行い、今後編集委員会を中心に検討していくこととなった。

4. その他

1) 学会重点課題および MCRT の活動について

昨年度は新型コロナの影響もあり十分な活動ができなかったことに加え、どの課題も主体的に活動を支える若い力が必要であることなど、意見交換を行った。

MCRT については、当学会で初めて他の団体と共に取り組んだ重要な活動であるが、今後はいったん活動を休止し、今後の活動の在り方などを議論していくこととなった。

2) 研修会・講習会・ワークショップについて

今後も活動を継続し、若手の理事にも参加してもらい研修企画やテーマ設定を検討していくこととなった。

3) 日本学術会議のメールは常任理事にのみ一律で転送し共有することが確認された。

◇2021 年度第2回理事会 議事概要

日 時 : 2021 年 7 月 30 日 (19:00~20:30)

会 場 : Zoom にてオンライン開催

出 席 : (順不同、敬称略) 雨宮由紀枝、浮田徹嗣、鉅鹿健吉、大西守、岡本淳子、荻田純久、影山隆之、加藤純、狩野武道、菅野恵、喜多祐荘、倉島徹、黒岩誠、齋藤和樹、酒井佳永、高下梓、高塚雄介、

瀧澤透、田中秀樹、傳田健三、中野明德、中野良吾、西村靖史、早川東作、廣尚典、福島眞澄、船越明子、水口進、元永拓郎、吉岡伸一、馬渕麻由子、阿部裕、上別府圭子、丸山総一郎、湯浅和彦（計 35 名）（記録担当事務局員：原） 欠 席：10 名 委任状：5 通

I. 報告

1. 2020 年度事業報告、2. 2020 年度会計報告（暫定版）、3. 事務局報告

役員選挙について、「地域・社会・文化」分野の理事に該当者がなかったため今後の課題とすることとなった。

2020 年度会計は 2021 年度の監事により監査を行う予定であることが報告され、2020 年度会計（暫定）は承認された。

II. 議題

1. 2021 年度事業計画

学会重点課題の「被害者のメンタルヘルス」に関する活動および MCRT の意義などについて検討することとなった。若手のメンバーを加えての勉強会の開催も検討していく。

「ひきこもりへの対応」、「高齢者と障がい者の地域共生支援」に関するワーキンググループは、高塚理事、喜多理事を中心に活動を継続していくこととなった。どちらの活動も若手メンバーに参加してらうことの重要性が共有された。研究会・講習会・ワークショップは福島理事、加藤理事が中心となり開催していくこととなった。

2. 2021 年度予算案について

支出の J-STAGE への学会誌掲載のための電子化作業委託費、名簿作成費は今年度のみの予算。ニュースレターの紙媒体の発行費について議論した。2021 年度予算案は承認された。

3. 第 37 回大会（常磐大学）について

大会スケジュール、開催方法、参加費等について報告された。オンライン開催における本人確認方法、参加費区分のわかりやすい標記について意見があった。

4. 編集委員会

福祉領域で研究活動を行っている方に編集委員に加わっていただきたい旨、編集委員長から理事へ推薦の依頼があった。

第 36 巻 2 号の特集テーマ・編集計画について報告があり、理事へ寄稿のお願いがなされた。

5. その他

1) ニュースレターの紙媒体の発行について

会員への意向調査結果、予算状況、印刷業者、発行の長期的プラン等について議論された。継続的な発行を安定的に行うためには会員の意向確認等もう少し検討が必要ということになり、予算執行についてはすぐには行わないこととなった。

2) 常任理事への就任希望について

喜多理事より常任理事への就任希望があり、承認された。

3) 第 38 回大会について

船越理事より、2022 年度の大会について神戸市看護大学にて秋ごろの開催予定が報告された。現地開催／オンライン開催のどちらの可能性も含めて検討中とのこと。



事務局よりお知らせ

事務局からのメールをこれまで受け取っていない方は、会員名簿にメールアドレスが（正しく）登録されていない方です。ご登録いただけますと諸連絡を迅速にお伝えできます。もちろん登録情報は学会事務以外に用いることなく、適切に管理いたします。